

### 【作文小学生低学年の部】

- 特選** 加賀野小学校 3年 及川 直「大切な水」
- 入選 上沼小学校 3年 熊谷 和「みんなで使う大切な水」
- 入選 登米小学校 3年 山田 怜奈「大切な水道」

### 【作文小学生高学年の部】

- 特選** 加賀野小学校 5年 及川 萌「きれいな水のために」
- 入選 新田小学校 4年 千葉 寧々「水がつながり気持ち」
- 入選 新田小学校 4年 園田 ゆり「水での思い出など」
- 入選 石森小学校 5年 阿部 夏海「水のたいせつさ」

### 【作文中学生の部】

- 特選** 中田中学校 3年 渡邊 ちなみ「「誇り」と「感謝」をもって」
- 入選 東和中学校 3年 大友 萌衣「水を守る」
- 入選 米山中学校 3年 及川 好「小さくも偉大な水道」
- 入選 米山中学校 3年 及川 莉奈「命の源」

# 大切な水

登米市立加賀野小学校

三年及川 直

「二人ともちよつとここすわりなさい。」  
きよ年の夏、お母さんがこわい声でぼくと  
お姉ちゃんに言いながら細長い紙を二まい出  
しました。水道しりょうのお知らせと  
書いてある紙で、一か月のにどれぐらい水道  
をつかって、そのりょう金はいくらかとい  
うことが書かれています。そして、その  
金がか前の月にくらべかなり高くなってい  
ること水道のメーターをしらべに来た人に  
「どこか水がもれていませんか？」  
と言われてすぐおどろいたそうです。そ  
の時ぼくは、毎日のようにお風呂でお姉ちゃん  
とシャワーで水をかけあつたり、水を出し  
たまま遊んだり、ゆ船てはしゃいでお湯がへ  
つたために何とも足し湯をしたことを思い出  
して、心の中で「やばい！」と思いました。  
「きょうに水道りょう金かふえたんだけど、  
何か思い当たることはない？」

紙を二つならべたまま、こわい顔で言われました。まだ水のたんいやお金のべん強はしていない時だ。たので、どれくらいつかってどれぐらい高くを。たのはよくわからなかつたけど、お母さんがおこっていること、むだづがいをしたために水道りょう金が高くなつたことはわかりました。

「あなただちはお金をただながしてすてたのと同じこと。むだにながしてしまつた水があればどれだけの人とたすかつたんだろ

うねい。

ぼくはそのとき、お母さんがおこつたのは水道りょう金が高くなつたということだけではないことに気づき、大切なことを思い出しました。

前にテレビでせかいではかんたんに水が手に入らない国があることを知りました。小さな子どもが遠くまで水くみに行くこと、よごれたいど水をのんでびょう気になつてしまふこと。それにくらべて日本はじつ口からすぐ

きれいな水が出るのだからとてもしあわせて  
あることをお母さんやお姉ちゃんと話したこ  
とがあります。また、しんさいで水が出なく  
て不安な思いをしたことやのこと。た水を一て  
きもむたにしないように大切につかったこと  
もあつたのに、それをわすれてむだづかい  
してしまつたことをはんせいしました。

ぼくはその時からなるべく水をむたにしな  
いように気をつけています。日本とはちが  
つてかんたんに水を手できかない国はたくさんあ  
ります。日本には、ぼくたちが安心しておい  
しい水きのゆるようにはたらいてくれる人も  
います。きれいで安心な水きのゆること、そ  
してその水をつくつてくれる人たちに感じ  
する気持ちをわすれずに水を大切にしたいと  
思います。

みんなで作る大切な水

上沼小学校 三年 熊谷 和

朝、はみがきしながら、水道の水をなが  
レ。はなしにしていたら、お母さんから、  
っも。たいたいよ。水は大切に使うね。  
と言われました。

私は、どうして水を大切に使うべきかとい  
けないのかなあと思いました。

お母さんが図書館で本を探りに行。た時に  
水のことの絵本もい。しよにかりてきてくれ  
ました。

私は、さ。そく読んで見ると、水は、いつ  
でもどこでもいくらでもあるわけではないと  
いうことがわかりました。

世かいた中では、水のない場所も水がある。  
ても、きれいな水として使えない国がたくさん  
あることもわかりました。

私は、水道が使えなくな。たらどうな。て  
しまうのたろうと思いました。そして、今ま  
でに使えな。た日がある。たことを思い出し

ました。

それは、東日本大震災の時に。私の  
すんでいた町では、十日、じょうも水道の水  
が出ませんでした。

水が出なくなると、お風呂にも入れず、世  
間たぐもできず、トイレもなかせず、いろん  
なことができなくなってしまう。

私は、そのころ四さいだったので、水が出  
ないということがよく分からなかつたのです  
が、今また同じようなことが起きました。と

も木へんなことになると思っています。

水が便衣な人なることを体感したり、本  
を添って水は大事なもののなれど分かつたの  
で、これから少しでも大切に使うてみよう  
と思いをしました。

まずは、お風呂は、エッグに水をためて  
すること、ほかにもできるようなことをこれか  
ら家の人みんなでいっしょに考えていきたい  
と思いをしました。

# 大切な水道

登米小学校三年

山田

裕奈

「れな水も。マきて。」

お母さんが言いました。き、リンへ行。て。

水道のじ、口をくい、とひねると、「スウー

ッ」という音。じ、口をも、と上に上げると

「ゴォーッ」という音。じ、口をしめると、

「ポツ、ポツ、ポツ」ときれいな音。水道。て

いろんな音がするんだな。

こんどは水にさわ、てみました。

(あつめたい。)

(でもきもちいい)

よく見ると水はすきとお。て、ほしがうる  
うるしてきます。

(きれいだなあ)

ながれている水にまたさわ、て見ると、ピン

カッ。という音とい、しよに半分にわれまし

まりました。

(わあすごい)

(水、てすこい)

「お風呂に入るよう。」  
とお母さんに言われました。ふくをぬいで、  
お風呂の中に入りました。ひえた体をあふか  
あたためてくれます。体をあらうときは、よ  
それをながしてくれます。お風呂の中に入  
てもぐりました。目をあけて見ました。  
少しほやけるけど、水、ておもしろい。  
わたしのいっもちかくにある水、のむこと  
のできる水、よこれをおとしてくれる水、体  
をあたためてくれる水、これがまたいせつ  
につかわなくてはいけなりました。あと思いました。